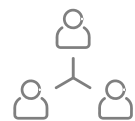


今こそ**人的資本経営の本質**をつかむ！

**新メニュー、新機能**を追加！



第4期

# 日経スマートワーク経営フォーラム 入会のご案内

2023.5.1版

入会案内はこちらから



活動内容は こちらから



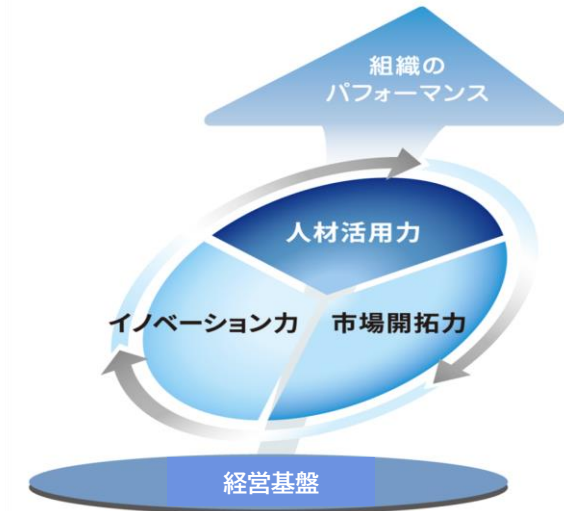
# 日経スマートワークプロジェクトの成果を提供する会員組織

日本経済新聞社では、2017年から「日経スマートワークプロジェクト」を立ち上げ、人材の活用を通じてイノベーションや市場開拓など成長に必要な力を高め、生産性向上につなげていく企業を支援してきました。

日本企業にとって生産性を高めることは喫緊の課題です。本フォーラムでは日本経済新聞社グループのリソースによる特別プログラムを組み、プロジェクトの大規模調査、各種のシンポジウムやセミナー、また理論研究などで培った豊富な蓄積を生かし、会員組織化してご提供しています。

人的資本経営の重要性が指摘され、ジョブ型への本格移行や賃金増に向けて今後も生産性を高めるための絶え間ない変革が必要になります。本フォーラムによる「スマートワーク経営」を目指すための深掘りされた知見や経験、また著名な学識者、同じ課題を持つ企業同士のネットワーキングなどの機会が大きな転換に対応するためのお役に立つものと確信しております。ぜひ参加をご検討ください。

日本経済新聞社  
日経スマートワークプロジェクト事務局



日経スマートワークプロジェクトでは、多様で柔軟な働き方を通じて人材や組織のパフォーマンスを高めるとともに、イノベーションを生み、新たな市場を開拓し続ける好循環を作り出すことで企業競争力を高め、生産性を最大化する経営戦略を「スマートワーク経営」と定義しています。

# 日経スマートワークプロジェクトの活動

日経スマートワークプロジェクトは、調査による情報収集と評価、研究会による分析、会員組織によるネットワーク化、シンポジウムによる啓発と企業の情報開示の場を提供する活動などを行っています。

大規模調査



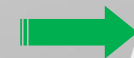
理論研究



表彰



会員組織



情報発信

日経スマートワーク  
経営調査

スマートワーク経営  
研究会

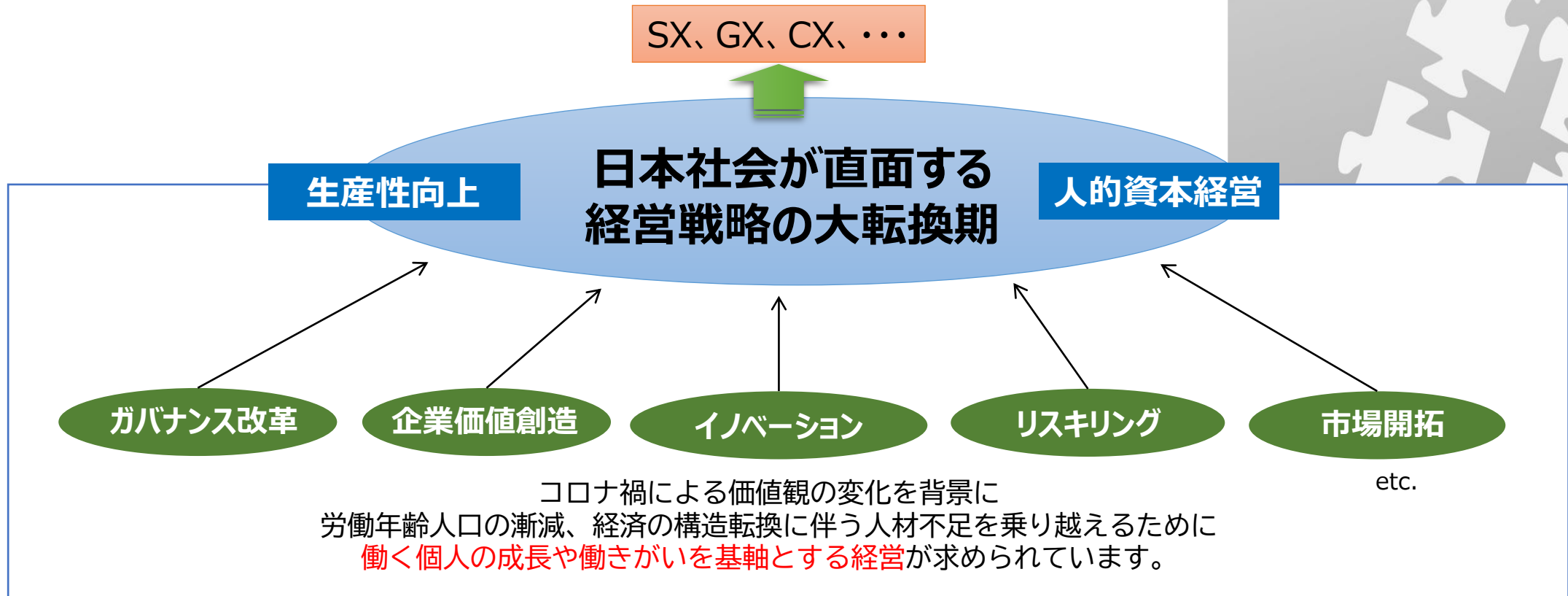
日経スマートワーク  
大賞

日経スマートワーク  
経営フォーラム

日経スマートワーク  
シンポジウム等のイ  
ベントや公式サイト  
等

# 人材は管理する資源から投資対象に

VUCAと言われる外部環境の変化が激しく先の見通せない時代に対応して企業価値を高めるには、人材を「コスト」や「資源」ではなく「投資対象の資本」としてとらえ、人材の価値を引き出す経営スタイルが不可欠となっています。また、人的資本に関する情報は「企業の持続的成長を予測するための重要指標」として、投資家などのステークホルダーが積極的な情報開示を求めるようになってきました。



# 第4期は、人的資本経営を主なテーマとして取り上げます。

「人的資本経営」はこれまでの人材を資源としてとらえてきた施策からの大きな転換になります。日経スマートワーク経営調査は2017年の開始から「人への投資」を一貫して回答企業に聞いてきてます。この蓄積や分析、アドバイザーメンバーの最新知見などを活かした活動を展開します。ご期待ください。

## 第12回 特別セミナー「人的資本経営の盲点とは？」を開催

[開催日時] 2023年4月25日（火）14:00-16:00  
 [開催方法] Zoom Meetingによるオンライン配信  
 [講師] 慶應義塾大学大学院商学研究科教授 鶴 光太郎 氏  
 モデレーター 日本経済新聞社 編集委員 石塚 由紀夫



## 特別研修「人的資本経営と人材戦略の基本—自社の人材価値を引き出し、経営戦略と人材戦略をアラインする—」を開催

プレミアム、A、（研修選択の）B会員対象  
 [開催日時] 2023年5月26日（金）  
 [開催方法] リアルとオンライン配信によるハイブリッド開催予定  
 [講師] 事業創造大学院大学教授 一守 靖 氏  
 ※詳細を17ページに掲載



## 第13回 特別セミナー「人的資本経営における人権尊重の重要性」（仮題）を開催

[開催日時] 2023年6月23日（金）  
 [開催方法] Zoom Meetingによるオンライン配信  
 [視聴対象] 日経スマートワーク経営フォーラム会員社と一般応募から抽選  
 [講師] 三菱UFJリサーチ&コンサルティング サステナビリティ戦略部シニアマネージャー 櫻井 洋介 氏



## シンポジウム「Smart Work-X 人的資本経営への挑戦」（仮題）を開催

[開催日時] 2023年9月  
 [開催方法] リアルとオンライン配信によるハイブリッド開催予定（会場は日経ホール）  
 ※詳細を次ページに掲載



# シンポジウム「Smart Work-X 人的資本経営への挑戦」(仮題) 概要

## 人的資本経営への取り組み開示と最新ソリューションプレゼンの場としてのシンポジウム

日経スマートワークプロジェクトが2017年に開始して以降開催してきたプロジェクトのフラッグシップ的なシンポジウムです。2022年から枠組みを刷新し、無形資産としての人材活用の開示を目指す企業と最先端ソリューションを提供する企業がそれぞれ登壇する2部構成としました。人的資本への投資が生産性向上と結びつき、新たな付加価値「X」を生み出す可能性を討議。日本経済新聞採録特集と日経電子版に採録を掲載します。

主催	日本経済新聞社 (予定)
開催日	2023年9月 (予定)
開催方法	ハイブリッドまたはオンラインによる開催 ※新型コロナの感染拡大状況を見て適切な時期に判断します。
収録会場	日経ホール (東京・大手町)
聴講対象	企業経営層、社員、官公庁等
掲載媒体	日本経済新聞 朝刊 (全国版) の採録特集を掲載 日経電子版にタイアップページを掲載 日経チャンネルにアーカイブ映像を設定
参加料	無料

### 協賛プラン

#### 自社の働き方に関する講演

講演時間：20分 パネルディスカッション：登壇1枠

人的資本経営実現に向けた取り組みについて講演していただけます。施策をはじめたきっかけや理由、実施後の効果など、人材活用を経営と結びつける視点から講演していただくことでステークホルダーやリクルート向けの具体的なアピールとして役立ちます。

12,200,000円 (記事下広告 全7段モノクロの場合の料金)

※記事下広告 全5段モノクロの場合の料金 10,200,000円

※上記料金には、新聞原稿制作費、消費税は含まれておりません。 ※カラー広告をご希望の場合は、24カラーエリアの掲載となります。全5段、7段のカラー料金は4,104,000円です。

- ・シンポジウムの告知等にロゴマークを掲載
- ・日本経済新聞の採録特集に講演内容を掲載
- ・日経電子版に採録タイアップ記事を掲載
- ・日本経済新聞の採録特集に全7段モノクロ広告を掲載
- ・日経チャンネルにアーカイブ映像を設定
- ・(リアル開催の場合) 会場枠を5席ご提供
- ・日経スマートワーク経営フォーラム 正会員C資格

#### 関連ソリューションのプレゼンテーション

講演時間：15分

人材活用にひもづくテクノロジーやサービスは日進月歩で進化し続けています。コロナ禍により加速された新しい働き方、ライフスタイルに向けたソリューションについてプレゼンテーションしていただけます。

9,000,000円 (記事下広告 全5段モノクロ付き)

※上記料金には、新聞原稿制作費、消費税は含まれておりません。 ※カラー広告をご希望の場合は、24カラーエリアの掲載となります。全5段のカラー料金は4,104,000円です。

- ・シンポジウムの告知等にロゴマークを掲載
- ・日本経済新聞の採録特集に講演内容を掲載
- ・日経電子版に採録タイアップ記事を掲載
- ・日本経済新聞の採録特集に全5段モノクロ広告を掲載
- ・日経チャンネルにアーカイブ映像を設定
- ・(パーミッションを得た登録者の) リード情報の提供



2022開催の様子

告知広告

昨年  
掲載  
事例

↑ 採録特集 (日本経済新聞朝刊全国版、日経電子版)

# スマートワーク経営を実現するには

大規模調査への回答・分析による課題発見を起点に、情報収集、経験、交流、情報発信までのさまざまなレイヤーへの一貫した取り組みが必要と考えられます。

## 情報収集:

自社の課題を解決するためのより詳細な情報と知見



## 課題発見:

日経「スマートワーク経営」調査への回答と結果分析



## 経験:

課題解決のためのセミナーや研修などへの参加、経験



## 交流:

同じ課題を持つ会社や知見を持つ識者、専門家とのネットワーキング



## 情報発信:

**最終目標:**  
無形資産としての  
人的資源・投資の開示



# 日経スマートワーク 経営フォーラムは、課 題解決を支援します。

スマートワーク経営に向けたさまざまな課題に、日本経済新聞社グループのリソースを生かしたメニューで解決をサポートします。

## スマートワーク経営を実現するレイヤー



日経「スマートワーク経営」調査への回答、自社スコアの分析



自社の課題を解決するためのより詳細な情報と知見の収集、学び



課題解決のためのセミナーや研修などへの参加、経験



同じ課題を持つ会社や知見を持つ識者、専門家とのネットワーキング



自社の取り組みやサービスを知らせるための対外的な発信

## 本フォーラムの支援メニュー

「Smart Work経営 診断プログラム  
ベンチマークレポート」の提供  
データ活用ツールの提供

日経グループによる高品質なセミナー  
会員専用HPから会員限定情報の収集

日本経済新聞社による特別研修

識者や会員同士の交流会

日本経済新聞社が開催するシンポジウムやセミナーへの登壇



# 日経グループ内の最適なリソースを提供します。

## アドバイザーメンバー

### 日経スマートワーク大賞審査委員会メンバー

委員長 清家 篤 氏 (日本赤十字社長)  
 委員 坂東眞理子 氏 (昭和女子大学 理事長・総長)  
 委員 鶴光太郎 氏 (慶應義塾大学大学院商学研究科教授)  
 委員 ロバート・アラン・フェルドマン 氏  
 (モルガン・スタンレー-MUFG証券 シニアアドバイザー)  
 委員 石黒 浩 氏 (大阪大学大学院基礎工学研究科教授)

### 日経スマートワークプロジェクト「スマートワーク経営研究会」メンバー

座長 鶴光太郎 氏 (慶應義塾大学大学院商学研究科教授)  
 委員 山本 勲 氏 (慶應義塾大学商学部教授)  
 委員 滝澤美帆 氏 (学習院大学経済学部教授)  
 シニアアドバイザー 森川正之 氏  
 (一橋大学経済研究所教授、経済産業研究所所長)



清家氏



坂東氏



フェルドマン氏



石黒氏



鶴氏



山本氏



滝澤氏



森川氏

### 日経「スマートワーク経営」調査 回答企業ご担当者

#### 日本経済新聞社 編集委員

石塚由紀夫 他

#### 日経リサーチ (日経スマートワーク経営調査チーム)

#### QUICK (Market Eyesコメントチーム) 他



石塚

### ● 研修実施

#### 日本経済新聞社 教育事業ユニット



※上記登壇候補者全員が登壇しない場合があります。あらかじめご了承ください。

# 会員向けメニューのご紹介

## ① 「Smart Work経営 診断プログラム ベンチマークレポート」の提供（提供：日経リサーチ）

正会員プレミアムでは「プレミアム版」、正会員Aまたは正会員Bでレポートを選択された場合、「ベーシック版」を提供します。回答企業にお返しするフィードバック・レポートに加え、より詳細なスコアの把握と分析ができます。年末にプレミアム版の解説セミナーを会員向けの開催する予定です。※正会員A,Bで解説セミナーに参加希望の場合は、事務局にご相談ください。

## ② 日経グループによる高品質なセミナー

日本経済新聞および日本経済新聞グループによるスマートワーク経営に関するセミナーを受講できます。日プロジェクトの趣旨を理解割いていただいている著名な識者や先進的な人材活用や開示を進める企業が登壇するセミナーを開催します。

## ③ 日本経済新聞社による特別研修 **New！メニューを刷新します。**

課題解決に向け、日本経済新聞社人材教育ユニットが提供する特別研修を会員限定で提供します。

## ④ 調査データの活用ツールの提供 **New！新機能を追加しました。**

QUICKが提供する調査結果と株価動向などを組み合わせて確認できる特設サイトを利用できます。

## ⑤ 会員同士のネットワーキング **New！CHRO等の責任者の交流機会を新設します。**

スマートワーク経営を目指すメンバー同士によるネットワーキングの機会として、課題を持つ担当者が交流できる機会を設けます。今年度からCHROなどの責任者による交流の機会を新設します。

## ⑥ 会員向けセミナーへの登壇

自社の関連商品やサービスを会員向けセミナーで紹介する機会を提供します。また、プロジェクトの趣旨と合ったさまざまなシンポジウムやセミナーを開催するためのお手伝いができます（有料またはオプション）。

## ⑦ 会員専用HPの利用 **New！メンバーサイトにロゴマークを掲載します。**

特別セミナーのアーカイブ映像など会員専用のコンテンツを掲載します。今年度から会員社のロゴマークや関連ページへのリンクを実施します。

# ① Smart Work経営 診断プログラム ベンチマークレポートの提供 提供：日経リサーチ

日経「スマートワーク経営」調査回答後にお渡しするフィードバックレポートに追加する形で、よりも詳細な分析や様々なコンテンツを収録したベンチマークレポートを提供します。

※正会員プレミアムではプレミアム版とベーシック版、正会員A、または正会員Bでレポートを選択された場合はベーシック版を会員特典として提供します。

※日経リサーチ社が提供する「Smart Work経営 診断プログラム ベンチマークレポート」と同一の内容です。

※レポートの訪問説明も別途料金をいただき、実施が可能です。

## <レポートの特徴（ベーシック・プレミアム共通）>

- ・自社の詳細な評価（偏差値）を確認できます。分野ごとの強み・弱みがわかります。
- ・高ランク企業や同業種企業の評価や取り組み状況と比較することで、自社の不足している取り組みがわかります。
- ・人材活用力向上のための取り組みについて自社の制度の導入と制度の活用の進み具合のバランスがわかります。

## <プレミアム版の主な特徴（ベーシック版との違い）>

- ・自社の指定する企業（5社以上）の平均と比較することができます。（個別の回答や評価はわかりません。）
- ・ほぼ全ての設問の回答分布および指定企業の平均実施率・実施状況がわかります。
- ・自社の類似タイプから考える効果的な取り組みなど、様々な分析結果をご提供します。

## ベーシック版・プレミアム版 比較表

		ベーシック	プレミアム
分析・比較軸	同業種平均との比較	○	○
	高ランク平均との比較	○	○
	指定企業平均との比較	×	○
コンテンツ	総合評価・3側面の評価	○	○
	14指標の評価	○	○
	人材活用の導入と活用の評価	○	○
	約60詳細指標の評価	×	○
	データ集	△（一部抜粋）	○
	ブランド評価	×	○
	自社類似タイプ企業の特徴分析	×	○
	上位企業分析	×	○
	自由記述設問の傾向分析	×	○
	全設問のクロス集計表	×	○

## ②特別セミナー

アドバイザーメンバーによる講演と会員との質疑応答やディスカッションを中心に、インタラクティブな内容のセミナーを定期的を開催します。

- 日経スマートワーク経営 特別セミナー
- 日経「スマートワーク経営」調査 結果解説セミナーに優先的にご招待  
一般向けのセミナー終了後に、会員社の方々を対象に、日経リサーチによる「Smart Work 経営 診断プログラム ベンチマークレポート」（プレミアム版）の説明会を実施。
- 日本経済新聞社グループによるセミナー

※会員1社2名までご参加いただけます。

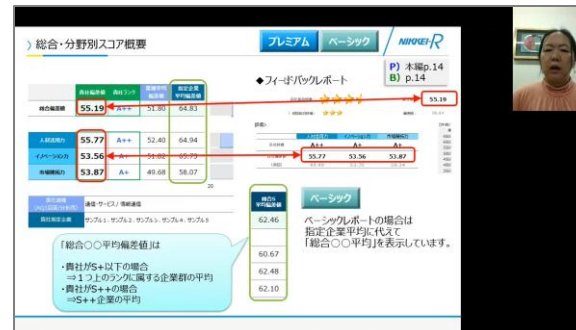
※開催内容の詳細については、内容が固まり次第、会員各社に別途メール等でご案内します。

※開催日程や開催方法について、新型コロナウイルスの感染拡大等の事情により変更になる場合があります。

参加される会員の皆さまや登壇者の安全を配慮し、最適な形で開催いたしますので、ご承知をお願いいたします。



2022.12.16 「第6回 日経スマートワーク経営調査」結果解説セミナー



2023.1.13 会員向け「ベンチマークレポート」解説セミナー



## ②特別セミナー 開催実績

### 第1回 2020年9月28日

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー

テーマ **「日経スマートワーク経営調査・過去3回から見えてきたもの  
～従業員の理解・ウェルビーイングを高めることは企業業績の向上につながるか～」**

講師 慶應義塾大学大学院商学研究科教授、「スマートワーク経営研究会」座長 鶴 光太郎 氏  
慶應義塾大学商学部教授、「スマートワーク経営研究会」委員 山本 勲 氏  
学習院大学経済学部教授、「スマートワーク経営研究会」委員 滝澤 美帆 氏  
※参考テキスト「日経スマートワークOUTLOOK 2020」



### 第2回 2021年1月29日 ※終了後、オンライン交流会を開催しました。

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー、交流会

テーマ **「コロナ禍におけるシニアと女性の活躍」**

講師 日本私立学校振興・共済事業団 理事長 清家 篤 氏  
昭和女子大学 総長・理事長 坂東 眞理子 氏



### 第3回 2021年5月25日

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー

テーマ **「コロナ禍が加速した働き方革命：企業の反応、社会の反応」**

講師 モルガン・スタンレーMUFJ証券 シニアアドバイザー ロバート・アラン・フェルドマン 氏  
※QUICK社によるプレゼンテーション「コロナ禍で問われた『イノベーション力』を実施しました。」



### 第4回 2021年6月25日（金）※終了後、オンライン交流会を開催

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー

テーマ **「生産性向上とイノベーションの関係性」**

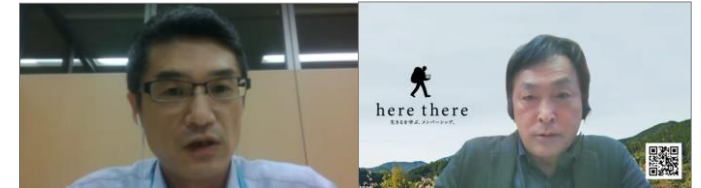
講師 アバターと未来社会 大阪大学大学院教授 石黒 浩 氏  
テレワークと生産性 一橋大学経済研究所教授、経済産業研究所 森川正之 氏



## ②特別セミナー 開催実績

### 第5回 2021年9月28日（火）

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー  
 テーマ **「サントリーの働き方改革のあゆみ～コロナ禍における新たな働き方への挑戦～」**  
 講師 サントリーホールディングス ヒューマンリソース本部 人材・組織戦略部長 兼 ダイバーシティ推進室長 千大輔 氏  
 プレゼンテーション **「釜石の復興と挑戦に学ぶ、越境学習（ラーニングワーケーション）プログラム」**  
 講師 日本能率協会マネジメントセンター 新事業開発部 部長 川村 泰朗 氏



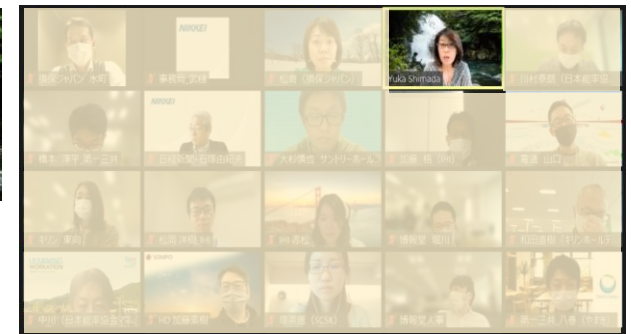
### 第6回 2021年12月6日（月） ※終了後、リアル交流会を開催

開催方式 リアル形式でのセミナー、交流会  
 テーマ **「タニタの働き方革命 その後」**  
 講師 株式会社 タニタ 代表取締役社長 谷田 千里 氏



### 第7回 2022年3月31日（木）

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー  
 テーマ **「『WAA』5年後の現実と課題－会社と社員を結ぶパーパス－」**  
 講師 ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社 人事総務本部長 島田 由香 氏



## ②特別セミナー 開催実績

### 第8回 2022年9月28日

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー

テーマ **第3期「日経スマートワーク経営フォーラム 第3期キックオフ！課題Inputミーティング」**

第3期の活動開始にあたり、フォーラムご参加各社に現在の一推しの施策や足元の最大の悩みをそれぞれ持ち寄っていただき、会員同士が課題感を共有していただくキックオフ会議を開催しました。参加各社が課題意識についてのショートプレゼンテーションを行い、その後小グループに分かれて会員同士で質問や討議を行いました。



### 第9回 2022年10月11日 「越境学習」第1回特別研究会

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー

ゲスト講師 特定非営利活動法人クロスフィールズ 共同創業者・代表理事 小沼 大地 氏

講演テーマ **「社会課題の現場に超越する意義」**

全体監修・コメンテーター 法政大学大学院政策創造研究科教授 石山 恒貴 氏



### 第10回 2022年11月22日 「越境学習」第2回特別研究会

開催方式 ZOOMによるミーティング形式のセミナー

ゲスト講師 作家／ワークスタイル&組織開発専門家／浜松ワークスタイルLab所長／『組織変革Lab』主宰／あまねキャリアCEO 沢渡あまね氏

講演テーマ **「『つながれない』は経営リスク～経営戦略・組織戦略としての越境思考」**

全体監修・コメンテーター 法政大学大学院政策創造研究科教授 石山 恒貴 氏



下記から第1回、第2回「越境学習」特別研究会の講演映像をご覧になれます（本映像は公開しています）。

<https://channel.nikkei.co.jp/ekkyougakusyu2022/>

※会員は会員専用HPからアーカイブ映像をご覧になれます。 <https://smartwork.nikkei.co.jp/member/> シンポジウムと連動する特別研究会はアーカイブ映像を公開しています。

※各回とも、コーディネーターは 日本経済新聞社 編集委員 石塚由紀夫 が務めました。

※講師の肩書きは、開催時のものです。



## ②特別セミナー 開催実績

### 第11回 2023年2月27日「SX特別研究会」

2022年12月に開催したシンポジウム「サステナビリティ経営の未来」の特別研究会として開催しました。サステナビリティ経営が重要課題となる中、SXについての基本的な知見と先進事例を紹介しました。

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー

テーマ 「SXはWHYを問うことから：『生活者・市民』の視点」

講師 立教大学 21世紀社会デザイン研究科 特任教授、不二製油グループ本社 CEO 補佐 河口真理子氏  
サントリーホールディングス サステナビリティ経営推進本部 課長 瀬田玄通氏

下記から、河口氏、瀬田氏の講演映像をご覧ください（本映像は公開しています）。

河口真理子氏「SXは WHY を問うことから：『生活者・市民』の視点から」

<https://bcove.video/3mhjOmh>

瀬田玄通氏「サントリーのサステナビリティ経営と水のサステナビリティへの取り組み」

<https://bcove.video/3mdDIhY>



### 第12回 2023年4月25日

【開催方法】 Zoom Meetingによるオンライン配信

【講師】

慶應義塾大学大学院商学研究科教授 鶴光太郎氏

【テーマ】

「人的資本経営の盲点とは？」

2023年3月期から人的資本の有価証券報告書に開示が義務化されるなど、人的資本経営への取り組みとそれによる企業価値の情報発信のための仕組みづくりが急ピッチで進められています。一方で、人的資本経営を進めるためには、賃金上昇や生産性の向上、真のジョブ型雇用への移行など、現在の経済状況も踏まえつつ必ず押さえておくべきポイントを知る必要があります。実効的な開示を目指すための「盲点」を日経スマートワークプロジェクトで理論研究を進める慶應義塾大学大学院の鶴光太郎教授とクローズドな場で考えました。

下記から、鶴氏の講演映像をご覧ください（本映像は会員限定です）。

【会員専用アーカイブ映像】

<https://vimeo.com/820873676>

（パスワードは、会員各社に個別にご案内しています。）

【プログラム】

14:00

開会

14:05-14:35

鶴氏講演

14:35-14:45

石塚編集委員から質問

14:45-15:30

参加会員との質疑応答、討議

15:30-15:35

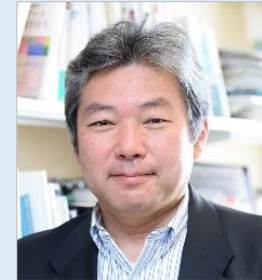
石塚編集委員まとめ

15:35-15:40 事務局からの

お知らせ

16:00

終了





日本経済新聞社が企画するSmart Work推進に寄与する企業向け研修を会員限定で提供。A～Cの中から、ご希望の多い研修を実施します。

## A 人的資本経営と人材戦略の基本

2023年5月26日

- 自社の人材価値を引き出し、経営戦略と人材戦略をアラインする-



【講師】  
事業創造大学院大学教授  
一守 靖 氏

【ねらい】

- (1) 人材戦略と人事マネジメントに関する体系的な経営リテラシーを養う
- (2) 経営戦略との関係において、人材戦略、計画を、比較、検討、判断のための視点を獲得する
- (3) ジョブ型雇用、パーパス経営、エンゲージメントなど、経営と人材に関するコンセプトを偏りなく理解し、時代の流れをつかみ、自社の状況を客観的に認識できるようになる

【内容】

- (1) 経営戦略と人的資本の関係
- (2) 人材戦略と人事マネジメントの基本  
～事業戦略、経営計画と人材戦略を連動させる
- (3) 人事マネジメント領域の経営課題の整理と対応  
～適切な議論と経営判断、戦略実行のために

## B エンゲージメントを高める組織づくり

- メンタルモデルを理解し、協働誘発チームづくりを考える-

【ねらい】

- (1) システム思考で組織を考える
- (2) 交流分析を通じて、自分自身の人間関係やコミュニケーションの傾向を知る

【内容】

- (1) 組織でおこる機能不全メカニズム  
・GRIPモデル、成人発達理論×プロセス思考心理学をもとに、組織が機能不全を起こすメカニズムを解説
- (2) 自身の自我を知る  
・交流分析 (TEG3) を事前課題として実施し、当日振り返る
- (3) 心理的ブレーキについて
- (4) ありたい組織の実現に向けて  
・継続すること/やめること/新たに取組むこと

## C EQこころの鍛え方：モチベーション

- EQを学び、知り、鍛える -

【ねらい】

EQは「感情能力＝感じる能力」といわれ、私たちが日常生活で普通に使っている能力です。自分や相手の気持ちを感じたり、前向きな気持ちをつったり、気持ちを切り換えたり、カッとなったときには冷静になるよう感情を管理しています。

- (1) EQの活用方法をご紹介します。ビジネスの様々な場面で有効に使えることを理解する
- (2) EQは開発可能な能力。今日から直ぐにできるEQ開発方法をご紹介します

【内容】

- (1) EQを学ぶ  
・EQの生まれた背景、歴史からEQ理論を学ぶ。学術的な理解だけでなく、ワークを通してEQ体験もする
- (2) EQを知る  
・ビジネスにおけるEQの有効性をはじめ、実践的なEQ活用法をご紹介します
- (3) EQを鍛える  
・具体的なEQ開発方法をご紹介します。感情に関する「知識編」、行動心理学に基づいた「行動実戦編」をワークを通して体験する

### ③特別研修

日本経済新聞社が企画するSmart Work推進に寄与する企業向け研修を会員限定で提供します。

2022年6月  
会員限定特別研修を実施

二人の講師と参加会員各社がインタラクティブな研修をハイブリッド形式で実施しました。

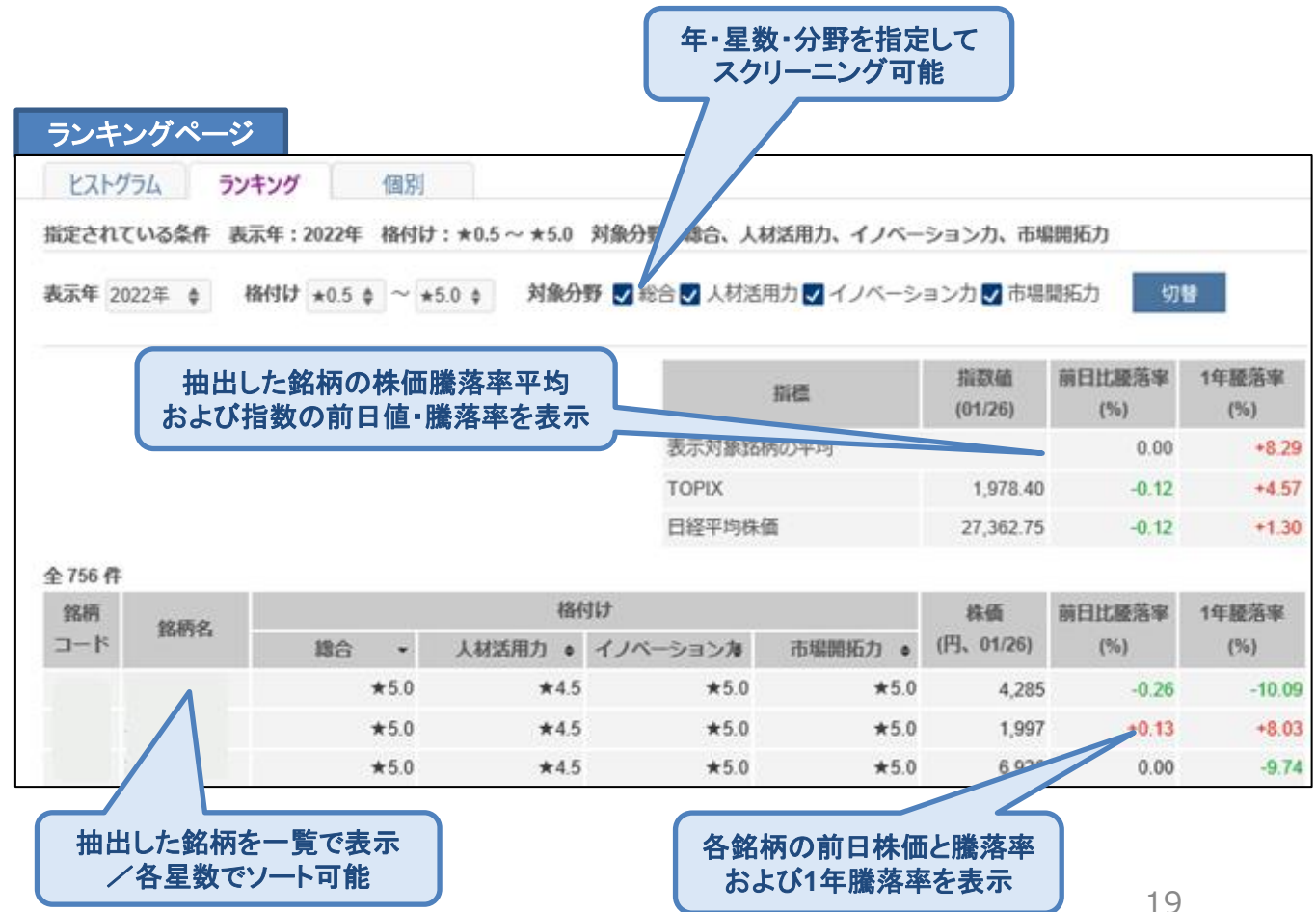
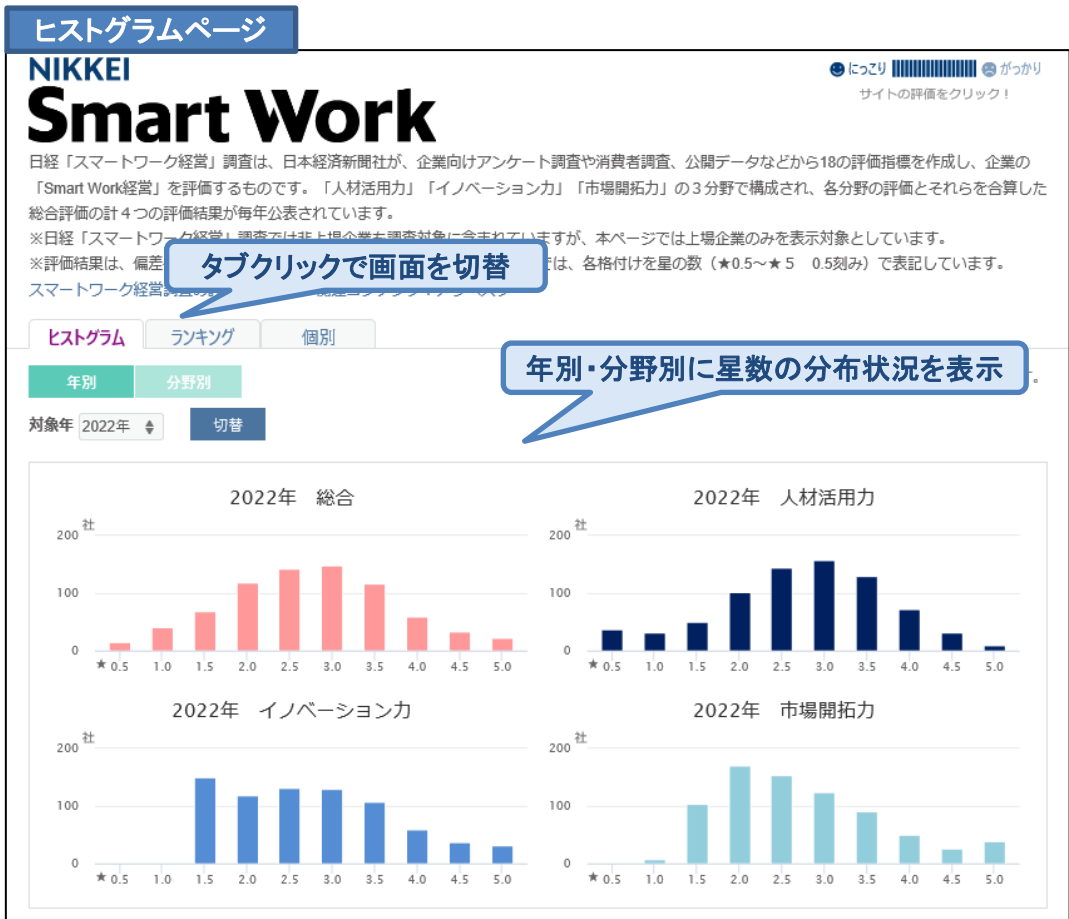
テーマ「2030年のワークスタイルを探る～変わる『働く場』と『キャリア観』  
－イノベーションを生む組織、エンゲージメントの高い組織など、新時代に求められる組織像を探る－」  
石塚由紀夫（日本経済新聞社 編集委員）  
池照 佳代（アイズプラス代表）



# ④ 調査データ活用ツールの提供 (利用可能期間：2023年6月～2024年3月)

QUICKが提供する日経「スマートワーク経営」調査の結果と個別銘柄の株価動向などを組み合わせて確認できる特設サイトを会員限定で利用できます。  
日経「スマートワーク経営」調査の**評価と株価 (≒企業価値) の変化を時系列で比較できる**のが最大の特徴です。

- ・日経スマートワーク経営フォーラム会員加入から10か月間の期間限定利用となります。利用期間終了後は、QUICK端末からユーザーのみが起動できます。
- ・ヒストグラム、ランキングおよび個別銘柄画面の3つのタブで構成しています。
- ・調査結果は、2017年～2022年分の総合、人材活用力、イノベーション力および市場開拓力のスコア（星数）を掲載。以降、毎年データを更新します（表示対象は上場企業のみです）。



# ④ 調査データ活用ツールの提供 (利用可能期間 : 2023年6月~2024年3月)

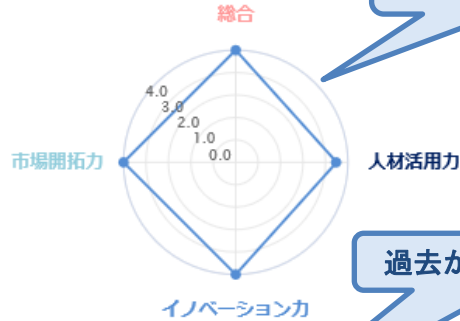
## 個別ページ

ヒストグラム ランキング **個別**

銘柄指定 : Enterで銘柄を検索できます 切替  
銘柄コードあるいは銘柄名を入力のうえ候補を選んでください

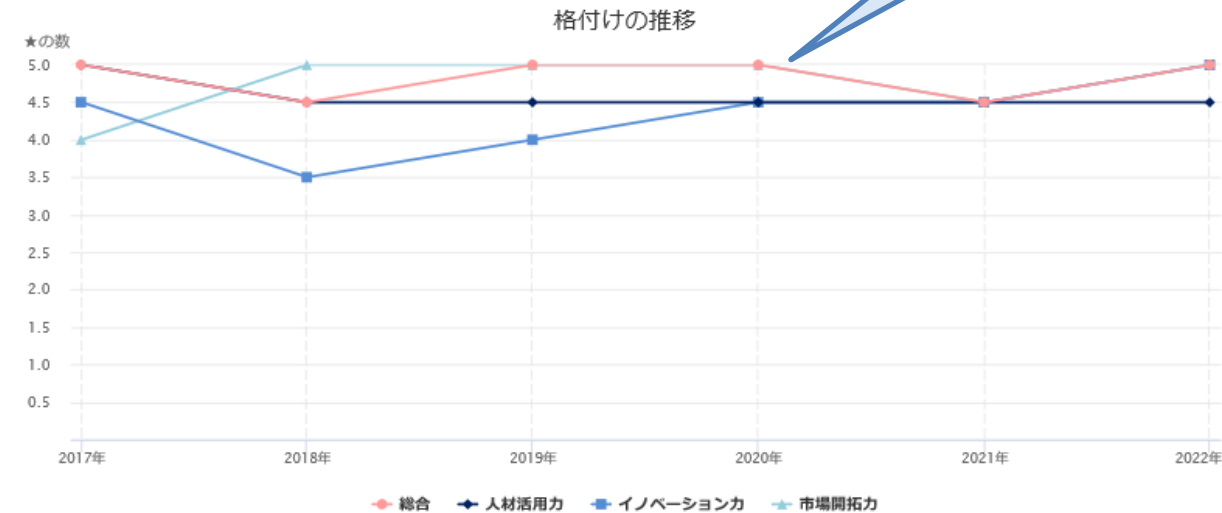
★総合	★★★★★★
★人材活用力	★★★★★
★イノベーション力	★★★★★★
★市場開拓力	★★★★★★

直近年の星数を表示

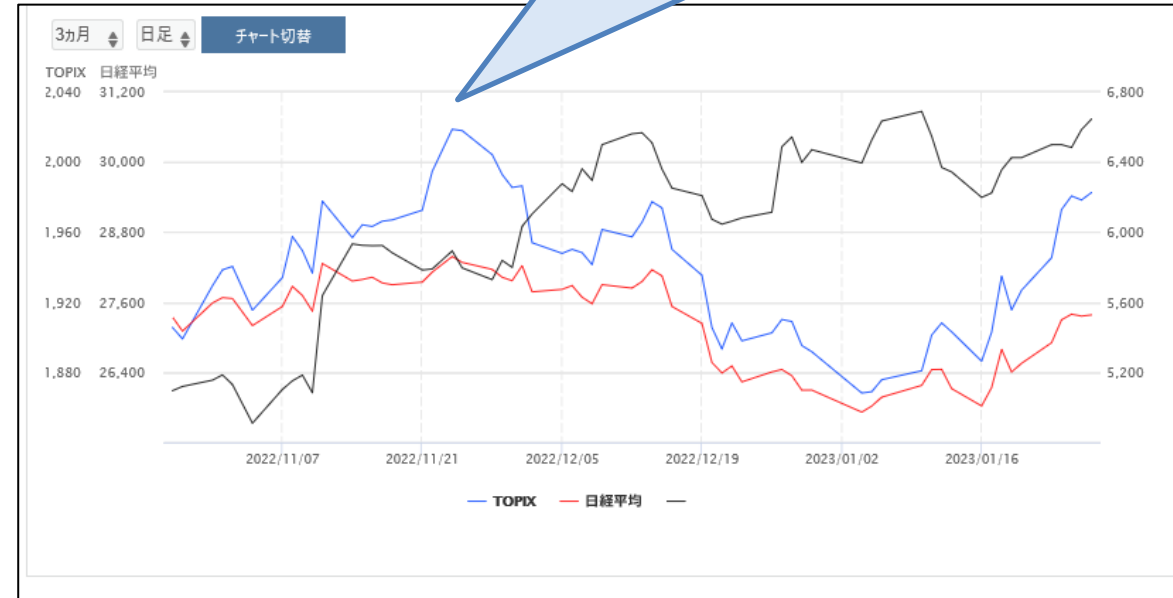


レーダーチャート

過去からの星数の推移



・対象銘柄および日経平均、TOPIXとのチャートを表示  
・期間と足種別を切替可能



2023年8~9月に会員向けにQUICK社によるツールの使い方や活用のための説明会を開催する予定です。



## ⑤ 会員同士のネットワーキング

登壇の識者や会員によるネットワーキングのための交流会を開催します。  
課題を持つ担当者同士の交流会に加え、CHRO等の責任者の集まっていたく機会も新たに設けます。

※開催日程や開催方法は、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響を考慮し、参加される会員の皆さまや登壇者の安全を配慮した上で最適な時期・形式で開催いたしますので、ご承知をお願いいたします。

## ⑥ 会員向けセミナーへの登壇（有料）

本フォーラム会員向けに訴求したい商品やサービスがある場合に、会員向けセミナーに登壇する機会をご提供します。

### ●特典

- ・講演時間30分
- ・セミナー会場での資料配布
- ・アンケートの実施

※各回の参加予定人数は50名程度を想定しています。会員募集開始後に改めてご相談となります。

※アンケートで会員企業の個人情報を取得される場合は、所定の手続きの上、実施企業の責任において情報管理をお願いいたします。

※開催日程や開催方法は、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響を考慮し、参加される会員の皆さまや登壇者の安全を配慮した上で最適な形で開催いたしますので、ご承知をお願いいたします。

**実施費用： 500,000円**

※上記料金に消費税は含まれていません。

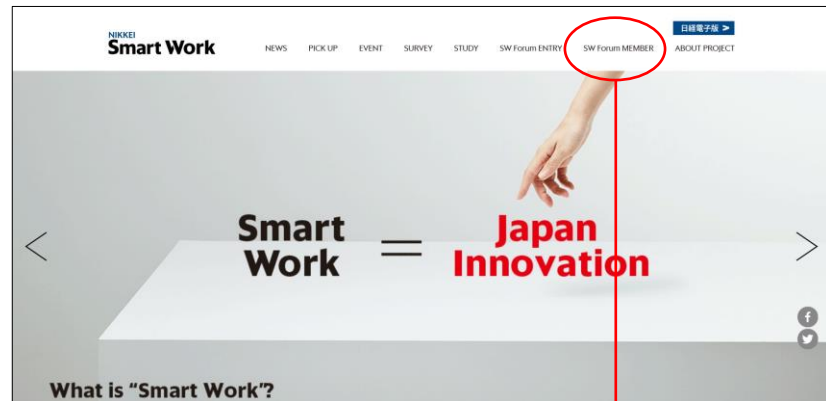


2023.2.14 特別セミナー&交流会開催の様子

# 日経スマートワーク経営フォーラムとしての広報活動

## ⑦ 会員専用HPの利用

フォーラムの活動報告やメッセージを新聞広告や専用サイトでお伝えします。メッセージと合わせて、会員企業のロゴマークを適宜掲載します。また、会員専用のHPを特典としてお使いいただけます。



日経スマートワークプロジェクト公式サイト  
<http://smartwork.nikkei.co.jp/>

本サイトには、日経「スマートワーク経営」調査の説明会や開催されたシンポジウムの資料・アーカイブ映像など一連のプロジェクトの活動内容が掲載されています。

### 会員専用ページ SW Forum MEMBER

特別セミナーのアーカイブ映像を会員限定で見ることが出来ます。また、研修やセミナーの予定、会員の活動などの情報を確認できます。

NIKKEI Smart Work

SW Forum MEMBER

2022.3.31 第2期 第3回 会員限定特別セミナーを開催

開催日 2022年3月31日 (水) 14:00-15:10

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー

テーマ コレリア・ジャパン・ホールディングス講演  
「WAA: 5年後の現実と課題-会社と社員を結ぶハブ-」  
コレリア・ジャパン・ホールディングス 創設者/代表取締役社長 藤田 昌典氏

【受講料 第3回 特別セミナー 会員専用アーカイブ映像】  
https://smartwork.nikkei.co.jp/entry/ (パスワードは、会員各社に個別にご案内します)

2021.12.22 第5回 日経「スマートワーク経営」調査  
会員限定ベンチマークレポート解説セミナーを開催

開催日 2021年12月22日 (水) 13:30-14:15

日経リサーチによる「Smart Work」経営診断プログラム「ベンチマークレポート」の解説と質疑応答を行いました。  
【会員専用アーカイブ映像】  
https://smartwork.nikkei.co.jp/entry/ (パスワードは、会員各社に個別にご案内します)

【会員社】  
※掲載順は1位順

MS&AD  
MS&ADインフラランスグループ

SUNTORY

Daiichi-Sankyo

うごかす。とめる。  
Nabtesco

JMAM

IHI  
Realize your dreams

CROSS FIELDS

SoftBank

dentsu

JMAC

マクドナルド

SCSK  
夢ある未来を、共に創る。

Kond 株式会社 近藤商会

SOMPO ホールディングス  
総合金融サービスグループ

東京海上ホールディングス

JMAR

HakuhodoDY holdings

入会のご案内はこちら。毎月のご入金が可能です。  
<https://smartwork.nikkei.co.jp/entry/>

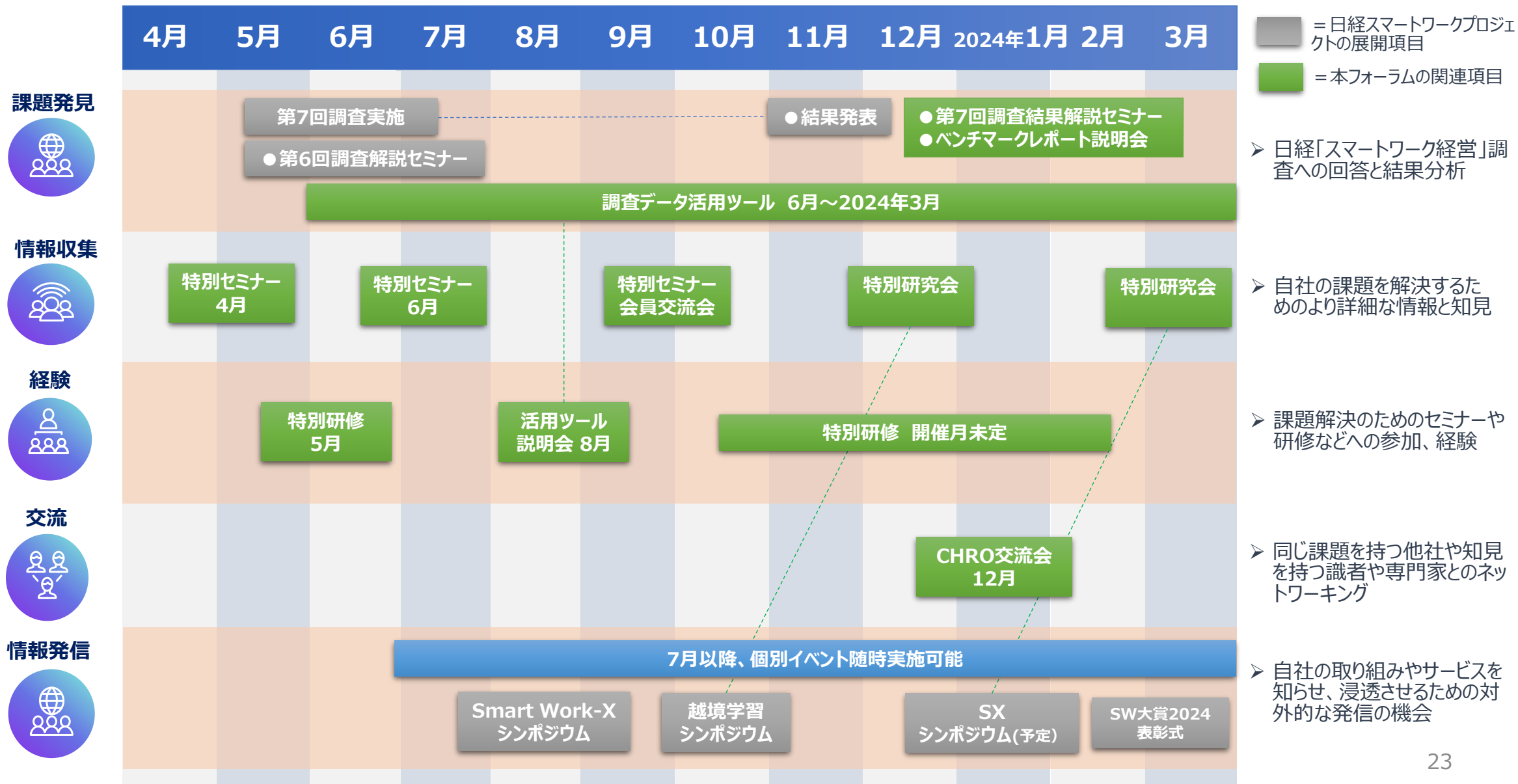
活動の詳細はこちらでご覧いただけます。  
<https://smartwork.nikkei.co.jp/member/>

お問い合わせ 日経スマートワーク経営フォーラム事務局 E-mail: smartwork-f@nex.nikkei.co.jp

**NEW!**  
 ロゴマークと関連先  
 へのリンクを掲載し  
 ます。

日本経済新聞（朝刊全国版） 2022年12月掲載

# 主な活動スケジュール



## 入会資格

**正会員** ※下記のプレミアム、A、BまたはCのいずれかからお選びください。

対象：日経「スマートワーク経営」調査 ご回答企業

第1回から第6回までの調査のいずれかにご回答いただいた企業すべてが対象になります。

### 正会員プレミアム

下記A～Iの会員特典すべてにご参加していただけます。

年会費 1,200,000円（消費税別）

### 正会員 A

下記B～Iの会員特典にご参加していただけます。

年会費 800,000円（消費税別）

### 正会員 B

下記のBまたはDのいずれかとC,F,Hの会員特典にご参加していただけます。

年会費 500,000円（消費税別）

### 正会員 C

下記のC,F,Hの会員特典にご参加していただけます。

年会費 300,000円（消費税別）

### 賛助会員

対象：日経「スマートワーク経営」調査への回答実績がない企業、次回回答を検討している企業等

下記C,F,G,Hの会員特典にご参加していただけます。

年会費 500,000円（消費税別）

## 会員特典

### A 「Smart Work経営 診断プログラム ベンチマークレポート」プレミアム版の提供

※プレミアム版にはプレミアム版説明会、ベーシック版が付属しています。

### B 「Smart Work経営 診断プログラム ベンチマークレポート」ベーシック版の提供

### C 日経スマートワーク経営特別セミナー、日経グループによるセミナー

開催されるすべてのセミナーに参加していただけます（会員1社2名まで）。

### D 日本経済新聞社による特別研修の受講

日本経済新聞社人材教育ユニットが提供する研修を受講できます（会員1社2名まで）。

### E 調査データの活用（2022年6月～2023年3月の期間）

QUICKが提供する調査結果と株価動向などを組み合わせて確認できる特設サイトを利用できます。

### F 会員同士の交流会

会員同士が参加する交流会にすべて参加していただけます（会員1社2名まで）。

### G 会員向けセミナーへの登壇（有料）

特別セミナーに登壇していただけます。詳細は事務局にお尋ねください。

### H 会員専用HPの利用、**NEW** ロゴ掲載

特別セミナーなどのアーカイブ映像を会員限定で見ることが出来ます。また、会員社のロゴマーク掲載を新設。関連ページへのリンクを実施します。

### I **NEW** CHRO等人事部門トップの交流会

人事部門トップの交流会を新設します。

	正会員			賛助会員
	プレミアム	A	B	
A	○			
B		○	(○) 選択	
C	○	○	○	○
D	○	○	(○) 選択	
E	○	○		
F	○	○	○	○
G	○	○		○
H	○	○	○	○
I	○	○		



# 日経スマートワーク経営フォーラム会則

## 第1条 名称

フォーラムの名称は「日経スマートワーク経営フォーラム」（以下、フォーラム）と称する。英文表記は、Nikkei Smart Work Management Forumとする。

## 第2条 組織

フォーラムは、株式会社日本経済新聞社（以下、日経）、日経「スマートワーク経営」調査の回答企業等および同調査の回答予定企業等から構成される組織とする。以下、日経を除くフォーラムの構成員を「会員」という。

## 第3条 目的

フォーラムの目的は、日経「スマートワーク経営」調査を通じて判明した各会員の課題の解決をめざし、生産性向上を実現するために、会員間において知見共有、研修および交流等を行うことである。

## 第4条 活動

1.会員は日経が提供する次の活動に参加することができる。具体的な活動内容は、日経が企画・決定する。

- (1) 日経「スマートワーク経営」調査のベンチマークレポートの取得
- (2) スマートワーク経営に関するシンポジウム、講演会、セミナーの開催
- (3) スマートワーク経営に関する研修の実施
- (4) 会員同士の交流促進を目的とする懇親会の開催
- (5) 日経グループの媒体における情報提供および広報活動
- (6) その他、全各号に関連するスマートワーク経営に関連する活動

2.日経は、天災地変（地震、噴火、洪水、津波等）、感染症、火災、停電、悪天候による交通機関の麻痺のおそれ、その他のやむを得ない場合により、フォーラム参加者の安全確保が困難になると認められる事態となった場合、前項の活動を一部中止または中断することができる。この場合、会費の減額・返金は行わない。

3.フォーラムで日経が提供する講演、講義、資料、記事、画像、動画および音声などの著作物の著作権その他の知的財産権は、日経または原権利者に帰属する。会員は、上記著作物を日経の書面上の許可なく、会員外の第三者に開示および頒布することはできない。

## 第5条 会員

- 1.フォーラムの目的に賛同する企業ないし組織は、本会則に同意したうえで日経に会員登録の申し出をし、日経に承認されることによって会員資格を得る。
- 2.会員は、日経との別段の合意ない限り、登録完了後日経から発行される請求書の記載に従い、会費を一括で支払う。支払いにかかる手数料は会員の負担とする。
- 3.会員資格は、正会員および賛助会員の2種類とする。
- 4.毎年度の活動内容については日経が発行するご入会案内書で別途定める。
- 5.会員資格の有効期間は会員登録日から1年間とする。ただし、有効期間満了日の1カ月前までに会員から別途定める退会届出書の提出がない場合は、自動的に1年間更新されるものとする。

## 第6条 退会等

- 1.会員は、退会の意思を記載した別途定める書面を日経に対して提出する方法でフォーラムを退会することができる。ただし、有効期間中に退会した場合、残期間について会費の払い戻しはしない。
- 2.日経が合理的理由に基づき会員が次の各号の一に該当すると判断した場合、日経は直ちに当該会員を退会させることができるものとする。この場合、会費の払い戻しはしない。
  - (1) 本会則に違反し、催告後も是正が見られないとき
  - (2) 重大な財務状況の悪化が認められる相当の事情が生じたとき
  - (3) 会員または会員の役員、従業員、親会社、子会社、関連会社が暴力団等の反社会的勢力と関係があることが判明したとき
  - (4) あらかじめ届け出た情報の全部もしくは一部が真実と異なることが判明したときまたは表明した事実の重要部分が真実と異なることが判明したとき

(5) 日経および他の会員の名誉および信用を毀損する行為が認められたとき、ならびに、このおそれがあるとき

(6) その他、フォーラムの実施にあたって重大な支障が生じると認められたとき

3.日経は、フォーラムの実施が事実上困難になった場合、予め会員に通知することをもって、フォーラムを終了することができるものとする。

4.フォーラムが前項によって終了するときは、日経は、①既に日経が会員から会費を受領している場合、経過した月数分にかかる金額を月割計算で会費全額から控除した上で各会員に返し、②日経が会員から会費を受領の場合、経過した月数分にかかる会費（会費全額を経過月数で月割計算した金額）を各会員へ請求するものとする。フォーラムの終了により会員に損害等が発生しても、日経は当該損害等に関し一切その責任を負わないものとする。

## 第7条 活動年度

活動年度は、毎年7月1日より翌年3月31日までとする。

## 第8条 内部情報の無断流出の禁止

日経および会員は、フォーラムを通じて知り得た他の会員の内部情報を当該会員に無断で外部に持ち出し、第三者に渡してはならない。

## 第9条 個人情報の取り扱い

日経は、申し込みの際に登録した担当者および実際のフォーラム参加者の個人情報については、「日本経済新聞社の個人情報取り扱いについての考え方」にしたがって取り扱う。

## 第10条 免責および損害賠償

日経は、フォーラムの運営にあたって日経の責めに帰すべき事由により会員に損害を与えた場合、日経に故意または重大な過失がある場合に限り、相当因果関係の認められる損害について、日経が会員から受領した会費の総額を上限に責任を負う。

## 第11条 反社会的勢力の排除

1.会員および日経は、会員資格の有効期間中、自らが反社会的勢力（「暴力団による不当な行為の防止等に関する法律」の定義する暴力団およびその関係団体等をいう）でないこと、反社会的勢力を利用しないこと、反社会的勢力を名乗り、不当行為等をなさないこと、自らの代表者、役員または実質的に経営権を有する者が反社会的勢力の構成員でないことを表明し、保証する。会員および日経は、相手方に当該表明・保証に対する違反を発見した場合、通知催告なしに退会または退会させることができ、その結果、相手方に損害が生じても一切の損害を賠償しない。

2.前項第二文の場合において、日経の違反により会員が退会した場合、日経は残期間にかかる会費を第6条第4項第一文の定めにしたがって会員に返金する。会員の違反により日経が当該会員を退会させた場合、当該会員は会費全額の支払い義務を免れず、日経は受領済みの会費を当該会員に返金しない。

## 第12条 譲渡禁止

会員は、フォーラムの会員としての地位およびこれに基づく権利義務を第三者に譲渡することはできない。

## 第13条 裁判管轄

日経および会員間におけるフォーラムに関する一切の紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

## 第14条 会則の改正

1.日経は、会員の一般の利益に適合する場合の他、本会則の変更がフォーラム参加の目的に反せず、変更の必要性、変更内容の相当性など諸般の事情に照らして合理的なものである場合には、会員の承諾を得ることなく、本会則の内容を変更することができる。

2.日経は、本会則を変更する場合、会員に対し変更後の内容および効力発生日を周知する。

# 日経スマートワーク経営フォーラム特別会則

特別会則 QUICK社から提供される「調査データ活用ツールの提供」特設サイトサービスの利用にあたっての留意事項

特設サイトのご利用にあたっては、会員はサイト上に記載している事項および以下の点を認識の上利用するものとする。

- 1.日経「スマートワーク経営」調査結果以外のデータの知的財産権は、QUICKまたはQUICKが指定するものに帰属すること
- 2.QUICKは特設サイトが正常に利用できるよう努めるが、その正確性および信頼性について保証するものではなく、また技術上不可避な理由によって特設サイトの提供に遅延や中断が生じる場合があること
- 3.QUICKは特設サイトでの表示内容を随時変更・削減する可能性があること
- 4.QUICK及びQUICKが指定するものは、特設サイトの利用により生じた損害について、その原因の如何を問わず、その責を負わないこと
- 5.特設サイトの利用は社内閲覧用途のみとし、第三者に提供、譲渡または転貸してはならないこと
- 6.特設サイトの内容について、複製、編集および加工等おこなってはならないこと

2021年6月1日制定



〔正会員〕



MS&AD

MS&ADインシュアランスグループ



SUNTORY

SoftBank

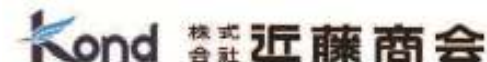


dentsu



Hakuhodo DY holdings

〔賛助会員〕



# 入会のお問い合わせ・お申込み

## 第4期会員 募集中

※毎月、ご入会が可能です。入会期間は入会月から一年間です。入会期間は入会月から一年間です（満了日の1か月前までに退会のご連絡がない場合は、自動的に一年間更新されます）。

下記のURLからお申し込みフォームにて入会申し込みを行っていただき、後日、正式な申込書類を送付させていただきます。

<https://smartwork.nikkei.co.jp/entry/>



フォーラムの活動内容はこちらから



〔お問い合わせ〕

日経スマートワーク経営フォーラム事務局

E-mail : [smartwork-f@nex.nikkei.co.jp](mailto:smartwork-f@nex.nikkei.co.jp)